

# 教育者会議

## 北海道

第1号

発行：北海道北方領土教育者会議

事務局：北方領土復帰期成同盟内 (電話) 011-205-6500 (FAX) 011-205-6501  
〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2-5 明治安田生命札幌北1条東ビル7階

## 設立総会無事終了！ 強い期待の声

「北海道北方領土教育者会議」の設立総会は、予定通り2月21日根室市の北方四島交流センター(ニ・ホ・ロ)で開催し、当会は正式に発足いたしました。関係者の期待は大きく、今後の活動が注目されていくと思います。

### ◇ 出席いただいた来賓◇

北方領土問題対策協会理事長	井上 達夫様
〃 総務課長	塚越 英人様
北海道教育庁根室教育局長	岡田 一憲様
北海道教育庁生涯学習部指導主事	竹林 亨様
根室市長代理根室市収入役	小形 峯雄様
千島歯舞諸島居住者連盟副理事長	鈴木 寛和様
根室管内小中学校長会長	松井 信輝様

◎ 提出した議案はすべて承認議決されました。  
(同封議案書参照)

◎ 役員は次のとおりです。

代 表	吉岡 教之 (根室市立光洋中校長)
	(根室管内北方領土学習研究会会長)
幹 事	鈴木 晶夫 (札幌市立福住小校長)
	(北海道社会科教育連盟)
	岩淵 正之 (札幌市立札幌中教頭)
	(北海道社会科教育研究会)
事務局長	横澤 英三 (根室市立啓雲中教頭)
事務局員	山崎 隆 (北方領土復帰期成同盟)



設立総会には、新聞社、テレビ局合わせて9社の取材があり報道関係の関心の高さは驚くほどで、北方領土問題における教育現場への期待の大きさをつくづく感じました。報道の一部は、同封した記事のコピーをご覧ください。

全国の教育者会議立ち上げの経緯や会のあり方については、呼びかけ団体の北対協井上理事長が来賓挨拶でお話をしていただけました。次ページに掲載しますので是非ご一読ください。

とにかかくにも会は出発しました。これからが大切です。周囲の期待に応えられる意義ある活動を始めなければ…と考えております。

## 来賓挨拶

北方領土問題対策協会理事長：井上 達夫

本日は北海道教育者会議の設立ということでございますが、待望久しい北海道における教育者会議の設立でありますので本当に心からお慶び申し上げます。

教育者会議といいますのは、47都道府県にあります県民会議の代表者が一堂に会する会議がございますのでその会議で北方領土問題の現状を考えると若者たちの啓発が重要であり、特に学校教育における北方領土教育を充実させることが大切であるということで、県民会議がイニシアチブを取った形で学校の先生たちと一緒にブリッジの組織を作ろうと提案をいたしました。

それが14年12月でしたが、幸い各地でご努力いただきまして15年度に10県、16年度に10県と2年間で20県で結成されました。今年も10県以上で取り組みが行われておりますが、今のところ年度内の立ち上げは5県位かなと思っております。おそらく今日の北海道は24番目か25番目になるかと思っております。教育者会議の会合を開きますと、どうして北海道がないんだと各県関係者から声が出ておりましたので、やっと本命の北海道でできるということでありまして、全国関係者の期待も大きいと思っております。

教育者会議のオリジンは3つあると思っております。そのひとつは、平成4年に行われました学習指導要領の改正です。中学校の地理、歴史、公民で国境・北方領土という問題、あるいはその返還を要求しているということをきちんと教えることが明示されました。

北対協はこの改正を受けまして、その年から根室で全国から中学校の先生にお集まりいただいて研修会をやってまいりました。

それから10年経って根室の研修会の参加者にビザなし交流参加者を含めると、全国で千人ぐらいになったわけです。ところがその研修会

に参加なされた先生方とお話をすると同様に次のような悩みがあることがわかりました。参加して北方領土を教えることがいかに重要か理解するのだけれど、学校に戻ると同僚にあるいは教頭にきちんと話をするのが大変難しい。また教えるについてもどのような形で教えたらいいいのか十分な知識もガイドラインになるようなものもない、という悩みを披瀝されるのが常でありました。

2番目のオリジンは熊本県の先駆的な試みだったと思います。熊本県ではそれまで根室研修会やビザなし交流に参加した先生方が縦の連絡を取り合っただけで随時の研修会を開いておりました。そのなかで意見交換をし、あるいはモデルの授業案を作るということを試みとしてやっておられました。私共が15年度に全国に呼びかけたのはこの熊本県をモデルにしてはどうかということでした。

この問題を提起したとき私は3つの留意点をお伝えしました。ひとつは、我々のやっている返還運動と教育の性格は違うから教育の独自性は十分に尊重してやっていきたい。2番目は、各県においてこの問題をめぐる事情は違うであろうから全国一律にやることはしない。各県の総意と工夫、そして可能なテンポで進めていただければいいのではないかと。3点目は、にもかかわらずこのことは県民会議がイニシアチブを取ってやっていただきたい。ということをお話しました。

私はこのときあまり楽観的ではありませんでした。15年度10県、16年度10県というのはとても速いテンポだと思っております。その背景とすれば、学習指導要領の改正があり、先生方がそれに沿って授業をしなければならぬ、ということが基盤にあったからだろうと思っております。

教育者会議の3点目のオリジンでありますけれども、今日の設立総会そして今後の活動でも中心的な役割を果たすようでありまして

根室管内北方領土学習研究会であります。

本当にこの研究会には私共はお世話になったと思います。先ほどお話ししたように平成4年から根室で研修会を開いてきましたが、それに対して根室管内北方領土学習研究会から惜しめない協力をいただきました。10年以上の研究蓄積のある冊子をいただきましたし、モデル授業の講師としてもお助けいただきました。

特に15年度からは研修会場を歯舞中学校で行いました。全国の先生方にとって歯舞という名前の中学校で北方領土教育の研修を受けるというのは大きな驚きでありインパクトがありました。

この教育者会議の結成という動きは、このオリジン3つの上に、非常にたくさんの方々のご理解とご尽力でこのように進められてきてい

るのだと思います。

実は、作るのは比較的易しいけれど続けるのはとても難しいと思います。成立している20数県の教育者会議も各県の事情はばらばらでありますので、事情に応じた活動をしているのが実情でありますし、すべてが順調にしているとは必ずしもいえない。

そういう中で、量的にも質的にも大きな蓄積のある北海道の先生方が教育者会議という輪に参加して今後指導していただけるということは全体にとって大きな役割を持つと期待しております。

待望久しい北海道の教育者会議が多くの方々の努力で設立にいたりましたことに再度お祝いを申し上げて今後のご活躍をお祈りいたします。

### 主催者挨拶（要旨）

北方領土復帰期成同盟副会長 水間 松美

本日お集まりの先生方には「北海道北方領土教育者会議」の構成メンバーとしてご参加いただくとともに、ご多用の中を設立総会にご出席いただき心から感謝申し上げます。

また、本日は来賓として北方領土問題対策協会の井上理事長さんをはじめ大変多くの関係機関の皆様のご臨席をいただく中でこの会議が発足できますことに、重ねて感謝を申し上げます。

この教育者会議についてでございますが、北方領土問題の解決が長期化する中、この歴史的事実を次代を担う青少年に確実に伝えていくことが国家的にも大変重要な課題となっております。また、(独)北方領土問題対策協会においてはこのための推進組織としての教育者会議を、全都道府県において立ち上げるよう取り組んできているところでございます。これを受けて、北海道では私ども(社)北方領土復帰期成同盟が世話役となり、北海道教育庁、北海道社会科教育連盟、北海道社会科教育研究会並びに根室管内北方領土学習研究会の全面的なご支援ご協力をいただきながら準備を進めてまいりました。そして本日の設立に至ったところでございまして、関係機関の皆様には改めてお礼を申し上げます。さて北方領土問題であります。去年は日ロ修好150周年、返還運動が始まって60年、11月にはプーチン大統領が5年ぶりに来日するということがあつて、私たちは大きな期待を持って多彩な返還運動を展開してきたところですが、結果としては残念ながらこれといった進展もなく、更に長期化の様相を呈している、というのが現状かと存じます。このような中で、この問題の解決には国民世論を更に高めていくことが必要であり、特に将来を担う若い世代に対する啓発の観点から、学校教育での取り組みの重要性とその充実・強化が強く要請されてきております。従いまして、この「北海道北方領土教育者会議」の役割と期待も大変大きなものがあると思いますが、設立の趣旨である先生方のネットワークが有効に機能し、教育現場における北方領土教育の進展に寄与することができるよう、そして北海道での取り組みが全国の手本となれるよう、私ども北方領土復帰期成同盟としても事務局としての役割をしっかりと果たしてまいりたいと考えているところでございます。関係機関の皆様には今後とも活動に対するご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

# 代表就任挨拶

吉岡 教之

海峡を埋めた流氷が沖へ去った海開けの根室湾の向こうに雪を冠った国後島を望む道立北方四島交流センターにて、待望の「北海道北方領土教育者会議」が設立された。

昨年、期待した日ロ首脳会談もその結果は大きな失望と落胆に終わり、改めて厳しい現実を認識させるものとなった。未だに解決の道筋が見えない状況の中、元島民の高齢化が進む中で、次代を担う子供たちに学校教育の中で北方領土の自然や風土、歴史的事実等を確実に伝えることが緊急且つ重要課題となっている。

北方領土問題対策協会が提起した教育者会議ですが、最重要地の本道において、原点の地根室で23年間全国唯一の実践研究を積み重ねている「根室管内北方領土学習研究会」の活動を基にしながら、北海道教育委員会、北海道社会科教育連盟、北海道社会科教育研究会の全面的な理解と支援を得、設立に尽力なされた北方領土復帰期成同盟の水間副会長、佐近事務局長、山崎推進員の諸準備の下に2月21日期待を受けて設立された。

井上北対協理事長、岡田根室教育局長、小形根室市収入役の激励挨拶を受け、活動方針として、根室管内北方領土学習研究会の実践に学びながら、道教委の指導・社会科教育団体との連携の中で研究と実践者のネットワークの強化と本道での北方領土教育の進展を支援していくことが確認された。

初代の代表に選出されましたが、自己の力不足を知るだけに責務の重さを感じながら、力一杯努めていきたい。

私の原点のひとつである社会科教師として30数年前、郷土の教材として国の主権に係るこの北方領土学習を、手探りで資料を集め元島民の話を聞き授業をした、遠い日の事が思い出される。

今そのことが点から線、面となり根室の実践が核となって全道へと発信され広まっていく。

若き日の情熱と使命感を絶やすことなく、皆さんと知恵を出し合いながら、北方領土学習の輪が大きく広まり、そして深まることを祈念して代表就任の挨拶といたします。

## 会員への連絡

- ① 18年度の「北方領土教育研究セミナー」は10月上旬に苫小牧市で開催する計画です。これから現地の方々と細部の検討に入ると思いますが、会員の皆さんは、参加できるように18年度の研修計画に加え、研修旅費等の確保をお願いします。厳しい配当予算だとお察ししますが、17年度函館市の記録集も参考材料にしながら参加の希望を校内研修担当者に伝えてみてください。
- ② 3月になり人事異動の時期ですね。住所・勤務先等、連絡先の変更は必ずご一

報ください。(FAX用紙を同封しておきます)

- ③ 会員登録は随時受けます。是非周りの方に声をおかけください。この会報は会員には2部配布します。広報活動にお使ってください。

- ④ 実践例・問題点・悩み・交流報告等、この情報紙上に載せる原稿を募集します。会員交流が大事な活動です。首を長くしてお待ちしています。会を支える皆さんのご活躍に期待しています。(山崎；記)